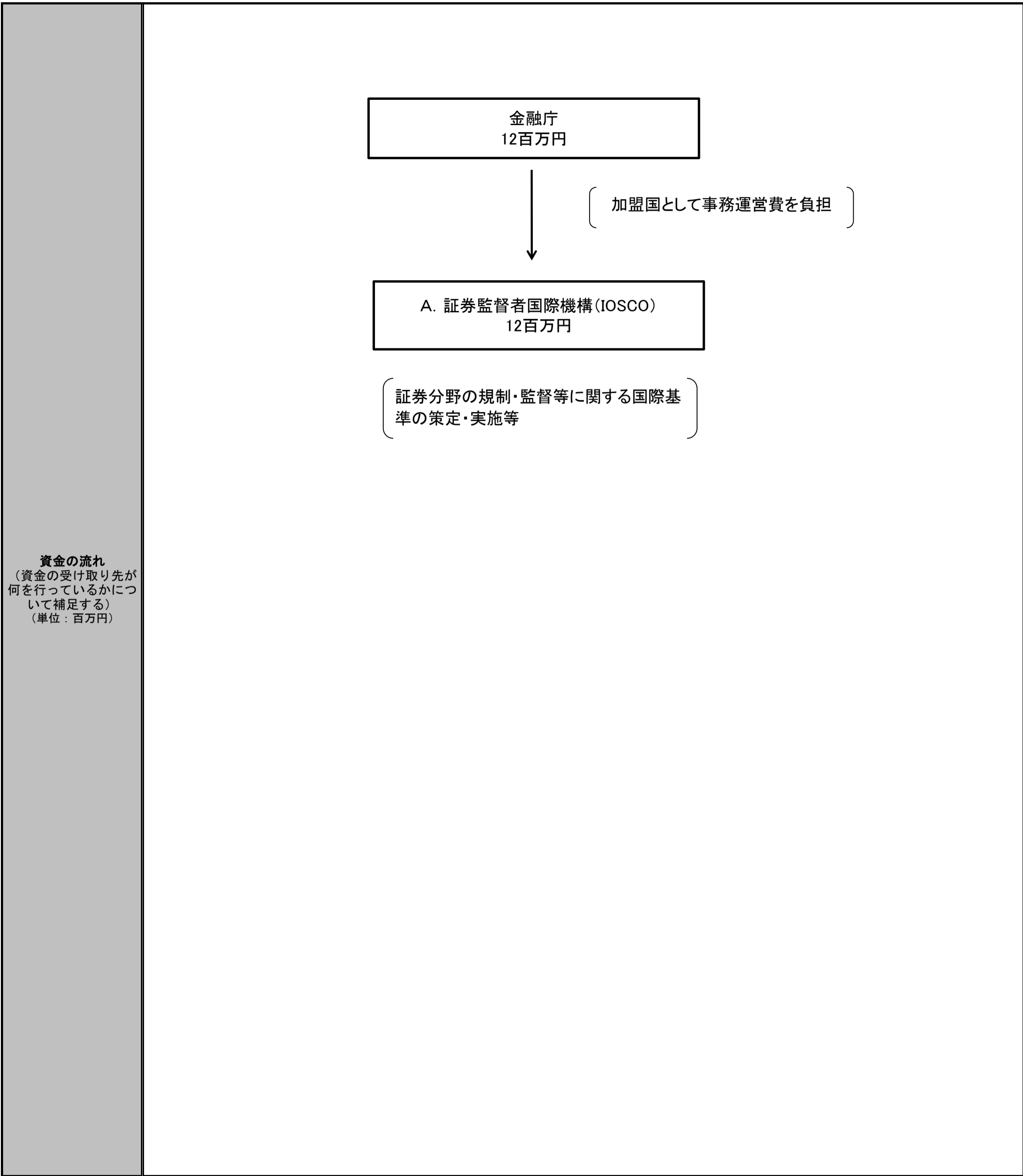


令和5年度行政事業レビューシート (金融庁)							
事業名	国際機関分担金(IOSCO)			担当部局	総合政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成10年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課国際室	永山 玲奈	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	証券監督者国際機構規約第14条・第26条		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	証券当局として国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。						
現状・課題 (5行程度以内)	証券監督者国際機構(IOSCO)では、証券監督に関する原則・指針等の国際的なルールの策定が行われており、各加盟機関が負担すべき事務運営費として、負担が求められるものである。						
事業概要 (5行程度以内)	証券監督者国際機構(IOSCO)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	12	12	12	14	15
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	12	12	12	14	15
執行額(G)	11	11	12				
執行率(%) =(G)/(F)	92%	92%	100%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	92%	92%	100%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	金融庁共通費			証券監督者国際機構(IOSCO)分担金の要求増: +1百万円		
	(目)	証券監督者国際機構等分担金	14	15			
		その他					
	計(A)		14	15			

活動内容① (アクティビティ)		国際機関に対して加盟国の責務に係る分担金を支出する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		分担金の負担実施	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-
				当初見込み	件	1	1	1	1	1
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		分担金を支払い、証券監督者国際機構(IOSCO)の加盟機関であることで、当該機関での国際的な議論に参加することができる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度	
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数	成果実績	件	2	2	2	-	
				目標値	件	2	2	2	2	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		担当課室にて集計								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		国際的な議論の趨勢は、世界情勢によって変わり得る、予測不能なものであるため、「国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数」以外に定量的な成果目標を設定することが難しい。								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		<p>○本経費は、証券監督者国際機構(IOSCO)の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、総会において日本が賛同した議案が決議された件数が目標(令和4年度:2件)に達していることから、適切に執行されていると考える。</p> <p>○引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。</p> <p>○費用の支出や国際会議への参加に加えて、例えば、IOSCO アジア太平洋地域委員会議長、IOSCO代表理事会副議長などを金融庁の職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導している。</p>					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)			
改善の 方向性		総会等の国際会議を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、委員会や作業部会の議長として、また、事務局との人脈を用いて、適切なガバナンスの実施や円滑な議事進行や作業を進める等して国際機関に対して効率的な運営を求める。								
外部有識者の所見										
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
現状通り		今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
現状通り		<p>○事業目的を実現するため、6年度予算要求においては、為替レート等の変更に伴い、前年度比1百万円の増額となる予算要求を行うとともに、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。</p> <p>○資金使途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金使途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めていく。</p>								



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事務運営費	証券監督者国際機構 (IOSCO) 事務運営費	12			
計		12	計			

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	証券監督者国際機構 (IOSCO)	-	分担金	12	その他	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック